

正誤表

1. 消費者のキャッシュレス決済の特徴 2パラグラフ目

(誤)

・その結果をもとに消費額全体に占めるキャッシュレス決済比率を試算すると、51.8%であることが明らかになった(注4)。その内訳を決済手段別にみると、クレジットカードが31.4%、口座引き落としが10.5%、プリペイド式電子マネーが5.0%、インターネットバンキングが1.4%、キャッシュカード振り込みが0.9%、デビットカードが0.8%、フィンテック決済サービスが0.7%となった(表1)。この結果から、日本のキャッシュレス決済はクレジットカードが中心となっていることが分かる。

(正)

・その結果をもとに消費額全体に占めるキャッシュレス決済比率を試算すると、51.2%であることが明らかになった(注4)。その内訳を決済手段別にみると、クレジットカードが31.0%、口座引き落としが10.4%、プリペイド式電子マネーが4.9%、インターネットバンキングが1.5%、キャッシュカード振り込みが0.9%、デビットカードが0.8%、フィンテック決済サービスが0.7%となった(表1)。

表1

(誤)

表1 決済手段別にみたキャッシュレス決済比率

	(%)
キャッシュレス決済比率	51.8
クレジットカード	31.4
口座引き落とし*	10.5
プリペイド式電子マネー	5.0
インターネットバンキング*	1.4
キャッシュカード振り込み*	0.9
デビットカード	0.8
フィンテック決済サービス	0.7

(注) キャッシュレス決済比率は金額ベースで算出したものである。なお、*は銀行が提供しているサービス。

(正)

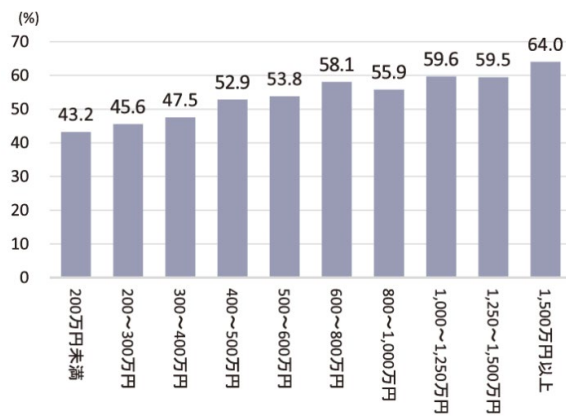
表1 決済手段別にみたキャッシュレス決済比率

(%)

キャッシュレス決済額比率	51.2
クレジットカード	31.0
口座引き落とし*	10.4
プリペイド式電子マネー	4.9
インターネットバンキング*	1.5
キャッシュカード振り込み*	0.9
デビットカード	0.8
フィンテック決済サービス	0.7

図1
(誤)

図1 世帯年収階層別のキャッシュレス決済比率



(注) キャッシュレス決済比率は金額ベースで算出したものである。

(正)

図1 世帯年収階層別のキャッシュレス決済比率

